



一般社団法人 富山県臨床検査技師会
令和7年度 第7回理事会会議議事録

開催日時	令和8年2月12日(木) 14時30分～16:15分
開催場所	富山県医師会館
出席理事	南部 重一、澤井 真史、稲垣 泰良、久保 昌美、杉江 和茂、中島 悠樹、上野 剛志、長井 静香、村椿 智佳子、森 美緒、吉田 淳史、辻田 由加利、浅井 泰代、竹林 衣枝、林 浩子、山崎 かな子、尾崎 智恵、加藤 ともこ、高野 沙矢香、南 昌宏、荒木 陽一郎、 根建 伊希子、西島 玲衣、田近 洋介、岡崎 千尋、
欠席理事	監事：金山 昌子、館 佳秀
会議次第	I. 開催の挨拶 II. 出欠の確認 III. 議 題 IV. 報告事項 V. 今後の日程 VI. その他
	I. 開催の挨拶 II. 出欠の確認 出席 <u>25</u> 名 欠席 <u>0</u> 名 III. 議 題 1. 入退会者の承認について (会員数動向) 富山県技師会新規入会申請者3名について読み上げ、会場に諮り入会の承認を得た。 富山県技師会会員数報告 575名 (2026/02/12 14時時点) IV. 報告事項 1. 日臨技・中部圏支部関連 1) 第75回日本医学検査学会 (青森担当) 令和8年9月26日(土)～27日(日) 幕張メッセ国際会議場、国際展示場 「今、命を未来につなぐ -イノベーションの架け橋-」 IFBLS2026 令和8年9月23日(水)～27日(日)同時開催 TPK 東京ベイ幕張 2) 第64回中部圏支部医学検査学会 (岐阜) 令和8年10月31日(土)11月1日(日) 長良川国際会議場 「臨床検査の「力」で未来を拓く」

富山県臨床検査技師会からは次年度開催県としてキャンペーン活動ブース

3) 第 65 回中部圏支部医学検査学会 (富山)

令和 9 年 10 月 9 日 (土) ~ 10 日 (日) を予定 駅北地区 別紙参照)

会場：オークスカナルパークホテル：会場 1~5、PC センター、

ボルファート：会場 6~10、事務局、展示会場、予備室

懇親会：オークスカナルパークホテル 2F 鳳凰 400 名

*R8 年度 10/31~11/1：岐阜 視察 ⇒ R9 年度：富山県担当

・今後の予定：会場視察、実行委員会主要メンバー決定、ロゴマーク、ポスター作成、
テーマの選定

日臨技学会予算：中部圏支部会員数×1000 円

2. 富臨技関連

1) 令和 7 年度富山県医学検査学会 (第 50 回)

2026 年 2 月 21 日 (土) 13:25~ 富山市民病院 3 階講堂 参加費 1000 円

一般演題 14 各座長依頼 一般演題の抄録集、プログラムは富臨技 HP に掲載

特別講演 2

① 「『育休・産休』現場最前線 ~女性技師の働きやすさは職場環境にある！？
~」

富山大学附属病院の塩崎真弓技師

② 「ニューリーダーとしての歩み」富山大学附属病院の中川夏輝技師
役割分担 (案) 別紙参照

<スケジュール>

時刻	内容	担当
13:00 ~	受付開始	総合司会：稲垣 泰良
13:25 ~	開会式	稲垣 泰良
13:30	会長挨拶	南部 重一
13:30 ~ 15:30	一般演題 14 演題(休憩なし)	座長：担当学術部門から タイムキーパー：西島 玲衣
15:30 ~ 15:40	休憩・調整	
15:40 ~ 16:00	特別講演 2 題	2 名のシンポジスト 司会：吉田 淳史
16:00 ~ 16:05	閉会式	田近 洋介
16:10 ~ 17:10	特別講演 (臨床検査総合部門研修会)	座長：澤井 真史 閉会の挨拶：澤井 真史

※14 演題：6 分発表 & 質疑 2 分でスムーズに進行しても約 2 時間はかかる

<役割分担>

役割	担当
会員受付	辻田、竹林、長井、山崎、加藤、高野、久保
会計（参加費徴収）	浅井、森
照明	荒木、根建
マイク	尾崎、中島、林
スライド・PC	吉田、杉江、西島、岡崎、稲垣
カメラ・記録	上野、南
庶務（日臨技会長対応）	澤井、田近、村椿、神保
会場設営	理事全員

準備

物品	
研修会・学会受付用紙	会員用、賛助会員用、非会員用、座長用
座席用	「講師」、「座長」、「演者」
PC 関係	ノートPC（学術）←予備は市民病院のものを準備 プロジェクターとケーブル（HDMI）の確認
マイク	座長、演者、質疑用2本ほど（会場備え付けのもの）

※理事集合時間 12:00、演者集合時間 12:30 理事以外座長集合時間 13:00

2) 臨床検査総合部門研修会

2026年2月21日（土）16:10～ 富山市民病院3階講堂 参加費 500円

『 臨地実習の思惑 ～受け入れる側と送り出す側と学生と～ 』

藤田 孝先生（一般社団法人愛知県臨床検査技師会 代表理事長）

3) 令和7年度第1回技師長等管理監督者会議 富山市民病院301会議室 11:00～12:00

- ① 令和7年度富臨技活動報告
- ② 日臨技・中部圏支部活動報告
- ③ 日本医学検査学会・中部圏支部医学検査学会について
- ④ 令和7年度富山県医学検査学会（第50回）
令和9年度日臨技中部圏支部医学検査学会の実務委員の協力依頼
- ⑤ 富臨技表彰規程に基づく表彰者推薦について
4月の理事会にて新旧表を提示し改訂を提案予定。
- ⑥ 令和8・9年度富臨技理事選出について
理事候補者選任中の説明、次期新理事確定済の場合は事務局へ連絡
新理事選任後、役員推薦委員会に提出予定
施設長の推薦1名 と 地区理事の推薦1名をもって提出審査に変更
- ⑦ 富山県臨床検査精度管理調査の試料発送について 別紙参照
 - ・来年度の精度管理調査試料の発送方法の変更について、ご理解をお願いします。
 - ・各部門個別発送から一括発送への運用変更の説明

R7年度より90万円の富山県補助金停止にて継続的な精度管理事業の運営が困難
大幅なコストカットが必須なため運用方法を見直し部門試料一括発送に切り替
え現状477,900円から226,215円に発送費用のコストダウンをはかる。

- ・8部門（生理検査部門を除く）の試料発送の中間日を基準日とし、各部門の試料
作製（準備）日を6月20日（土）、試料到着日を6月22日（月）、回答締め切り
日を7月2日（木）（10日間）に設定予定としたい。
- ・4月17日（金）の「精度管理協議会」にて一括発送の実施について提案する。
承認後、5月上旬の早い時期に富臨技から一括発送の実施を案内する。

⑤ 富臨技一般会計の現状と課題

1. 富臨技の歴史

発足昭和28年、会員数の動向と現状正会員数約580名で横ばい推移。

2. 富臨技会計の現状

単年度収支と当期支出差額の状況説明：R4年度から単年度赤字が続いている。

次年度繰越金の説明：R5年度で繰り越し赤字になっている。

3. 富臨技会費の推移と現状分析（収入と支出勘定項目と詳細内容の解説）

富臨技会費の推移：平成3年から年会費6,000円 / 入会金1,000円のまま

収入：富山県助成金削除（R7年度 教育研修9万円、精度保証事業90万円削除）

支出の視点：管理費増加（事務所賃借料・光熱水量）（←旧3万円）

令和5年8月富臨技事務所移転（賃借料5.5万円+光熱水量費+共益費）

給与手当：令和7年10月より最低賃金引上げによる人件費（+100円/時間）

通信運搬費・消耗什器備品の値上げ

4. 富臨技会計の課題と今後

令和6・7年度の収支改善への試み：

日臨技生涯教育推進研修会助成20研修会、最大100万円

学会・研修会参加費の徴収（受益者負担）

企業賛助会費の徴収

経費節減努力：印刷物、郵送物削減、冊子部数削減、冊子項数削減等努力

賃借料・助成金・賛助金確保：賃借料66万円、精度管理協議会へ120万円、

各種協賛賛助金10万円等190万円確保するためには+2000円では厳しい

単年度赤字+昨年度繰り越し赤字分：R7単年度120万円+47万円？

中部圏支部近隣県の会費収入状況

愛知2016.5万円（5千円）、静岡990.5万円（5千円）、三重719.1万円（9千円）、

岐阜724.5万円（7千円）、石川368.5万円（5千円）、富山352.8万円（現6千円）

※ 会員へ年会費値上げのお願い：本日2月12日理事会で説明、会員へ現状通知

2月21日 技師長等管理監督者で説明

4月 理事会で定時総会議案提出の決議*

5月 定時総会で議案提出

収入を担保しつつ80~100万円の単年度赤字分を数年間やりくりする必要があり、
会費を値上げせざるを得ない状況にあるため、会員一人当たり月160円分年間2000
円を負担していただく方向で、R9年度から会費8000円に値上げ変更することに理解

願いたい。4月の理事会にて会費改訂に伴う会費規定の変更の提案を行いたい。

*一般社団法人富山県臨床検査技師会 会費規程

平成24年 4月1日 制定

平成30年7月12日 一部改定

⇒ 令和8年5月 総会承認後 一部改定

(総則)

第1条 一般社団法人富山県臨床検査技師会（以下「会」という。）定款第7条による入会金及び会費の額は、この規程の定めるところによる。

(会費及び入会金)

第2条 会費の年額及び入会金は、次のとおりとする。

(1) 正会員の会費は6,000円とし、入会金は1,000円とする。⇒ +2000円:8000円

(2) 賛助会員の会費は30,000円とする。 ⇒ +3000円:9000円

(会費及び入会金の納入期)

第3条 会費の納入期は、年度開始前までに次年度の会費を納入しなければならない。

2 新入会員は、入会手続きと同時に、その年度の会費と入会金を納入するものとする。

(会費の減免の特例)

第4条 会長は、会員に特別な理由があると認める場合は、会費を減免することができる。

(規程の変更)

第5条 この規程は、理事会の議決を経なければ改定することができない。 ⇒ 総会の議決

(附則)

この規程は平成24年4月1日から施行する。 ⇒ この規程は令和8年5月〇日から施行する。

3. 各部局報告

1) 事務局

次期理事確定者は通知

学術規程ないの行動費品行を提案したい。

講師講師料と行動費および研修会参加費金額の見直しを提案について

行動費は zoom500円、対面2時間1単位500円、

研修会参加費は1000円以上に、富山県学会2000円以上にしてはどうか?

研修会講師料で精度管理報告会に10万円の支給額を見直せるか?学術に準じてはどうか?

・定款の改定案として4月の理事会に提案し、理事会に諮ることとする。

2) 会計部

R8.1月分

<収入> 合計 60,000円

日臨技	正会員会費	令和7年度分	6,000円×0名分	0円
	正会員	入会金	1,000円×0名分	0円
法人	賛助会費	(R8年度分)	30,000円×2社	60,000円
	広告収入		20,000円×0社	0円

<支出> 合計 243,200円

*貸貸料やコピー機リース代等の固定費以外の主な支出について

検査と健康展(機器賃借料) 13,000円

検査と健康展(理事行動費、弁当代、交通費、駐車料金) 210,200円

富山県公衆衛生学会 賛助会費 20,000円

・2025年度 研修会申請に関わる日臨技助成金のまとめ

20 研修会：1,298,500 円（推進費+助成金計 893,500 円、参加費計 405,000 円）
 ・助成金支出と賛助会費支出：精度管理協議会 1,200,500 円、細胞学会 3 万円、
 富山県公衆衛生学会 2 万円、他、2 万円程度。

3) 精度管理部

1/28 精度管理部門責任者会議報告 別紙参照

- ・各部門個別に 280 個の試料を発送していた。
- ・試料の一括発送の提案：各部門の試料作製、準備は 6 月 20 日（土）、21 日（日）午前「一括試料梱包会場」に各部門員が折りたたみ式クーラーボックス（技師会で準備する）に入れて試料を持参し、各参加施設への発送用袋に梱包作業後、ヤマト運輸に 21 日（日）午後の早い時間帯に、集荷をお願いする。
 一般部門は凍結で別便（81950 円）、血液ガス生理部門（225115 円）は別発送。
- ・R7 年度より 90 万円の富山県補助金停止にて継続的な精度管理事業の運営が困難
 大幅なコストカットが必須なため運用方法を見直し部門試料一括発送に切り替え
 現状 477,900 円から 226,215 円に発送費用のコストダウンをはかる。
- ・回答締め切り日を 7 月 2 日（木）（10 日間）。
- ・4 月 17 日（金）の「精度管理協議会」にて一括発送の実施について提案し、承認後「令和 8 年度臨床検査精度管理調査の実施について」案内を 5 月上旬に行い、一括発送の実施を案内予定。

4) 学術部

【学会・研修会報告】

日時	部門	会場	内容	参加者
12月20日	病理細胞診部門	富山赤十字病院+リアルタイムZoom配信	令和7年度 第4,5回生活習慣病従事者研修会	44
2026年1月24日	病理細胞診部門	富山赤十字病院+リアルタイムZoom配信	令和7年度 第6回生活習慣病検査従事者研修会	40

【会議開催報告】

日時	部門	会場	内容	出席者	助成金申請
10月19日	臨床一般部門	富山大学附属病院 臨床研修センター 2階多目的研修室	第3回臨床一般部門会議	4	なし

【研修会・学会予定】

日時	部門	会場	内容	助成金申請
2026年2月21日	全部門	富山市民病院 3階講堂	令和7年度 富山県医学校査学会（第50回）	なし

【共催・後援】

日時	団体名	会場	内容	出席者数	点数
12月4日	住友ファーマ株式会社	富山県民会館 704号室	ファブリー病エリアフォーラム in TOYAMA	富臨技参加：14名	済
12月6日	富山県臨床工学技士会	富山大学附属病院 臨床講義室1	第54回富山県臨床工学セミナー	富臨技参加：11名	済
2月23日	富山県合同輸血療法委員会・検査技師部会	富山県赤十字血液センター 3階会議室	富山県合同輸血療法委員会・検査技師部会輸血実施時の患者観察と対応を学ぼう！		
2月28日	日本臨床検査医学会東海・北陸支部	インテックビル タワー111 スカイホール	第64 回 日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会		
3月1日	日本輸血・細胞治療学会北陸支部	金沢大学附属病院 外東棟 4F CPDセンター	第12回日本輸血・細胞治療学会北陸支部スキルアップ研修会		

5) 広報部

会誌の校成にて修正箇所を訂正完了し、中央印刷へ正式に製本依頼。

(※4月理事会にて配布予定。)

6) 公益事業部

・令和7年度 検査と健康展 終了報告

11月16日(日)、まちなか賑わい広場グランドプラザ 10時～15時、撤収 16時。

体験コーナー：検体採取、認知症検査、骨年齢、血管年齢、AED、野菜摂取測定

パネル展示：臨床検査技師の仕事内容紹介、養成学校紹介、大型ビジョン放映

実務委員 22名

・来場者数概数 420名

・学校紹介 9名(北陸大学教員2/学生2名、岐阜医療科学大学教員1/学生2名)

体験コーナー：検体採取・認知症検査・骨年齢・血管年齢・AED・

野菜摂取測定器・肌年齢

280名

学校紹介：北陸大学、岐阜医療科学大学(資料、講師、学生派遣)

9名

新潟医療福祉大学(パンフレット設置)

パネル展示：臨床検査技師の仕事内容紹介

大型ビジョン放映：日臨技DVD、日本臨床検査新興協議会DVD、養成学校紹介

3 総括

骨年齢・血管年齢などの体験コーナーには、老若男女問わず多くの方にご参加いただきました。昨年は来場者の列が長くなったことを踏まえ、今年は初年度機器を2台体制で準備しました。採血体験では、臨床検査技師が関わっていることをご存じない方も多く、技師の役割を知っていただく良い機会となりました。特に子どもたちの関心が高く、参加者が多かったのが印象的でした。チラシ配布やSNSでの広報活動の効果もあり、新聞社からの取材や現役高校生が臨床検査技師に興味を持ち養成学校紹介ブースに足を運んでくださいました。子どもたちに人気だったのは、人体モデルを使った採血体験やAED体験コーナーでした。今後も、より多くの子どもたちに楽しみながら学んでもらえるような企画を検討していきたいと考えています。多くの方にご来場いただき、「楽しかった」「勉強になった」といった感謝の声も寄せられ、スタッフ一同、大きな達成感を得ることができました。

・効果

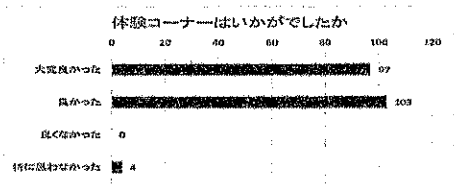
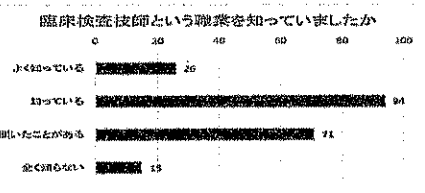
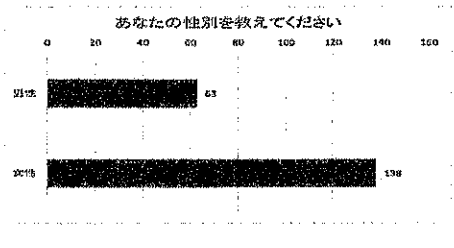
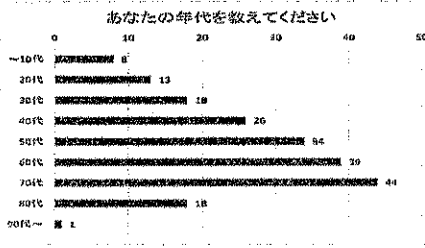
多くの皆様には検査体験を通じて臨床検査技師のことを楽しんで知ってもらおう事が出来たと思います。しかし臨床検査技師ができる仕事内容までは認識されていないと思いました。今後も検査と健康展を通して、臨床検査の正しい知識とその普及・啓発を行い、国民の健康づくりの意識の高揚を図りたいと考えて活動していきます。参加スタッフも一般の方と触れ合うことで貴重な体験ができました。

・要望意見

ありがとうございました(複数)
自分には無理な事はわかるが、孫に検討してほしいと思う
参考にします
もっと色々な検査を受けてみたいです
よかったです
助かりました
測定したことがなかったので、知れて良かったです。
興味はあったが、しっかり見てもらえてとても役立った
子供と一緒に色々体験できたことで、子供が興味をもってくれて良かったです！
針刺し体験が新鮮でした
いろんな検査があるんだと思う
機会があれば、もっとよく知りたいと思いました
楽しかったです

・アンケート集計結果 201名記入

10代の参加数が若干少なかったため、認知度を上げていく必要がある。



・中日新聞に掲載あり。当日インスタグラムにアップ。プレスリリース

検査と健康展経費（R7年度）

日付	支払先	品名	単価	小計	支払額	備考
7月9日		台紙		110	110	ネームプレート用台紙
7月9日		クリアバック代			9,476	アスクル/コンビニ振込
7月31日		チラシ印刷			7,402	A4版500枚、A3版100枚
8月20日	郵便局	案内郵送高校へ49枚			8,820	高校49校
9月10日	富山市民プラザ	グラウンドプラザ使用料	111,430	111,430	111,430	8時～16時、大盛ビジョン
9月10日		振り込み手数料	440	440	440	
11月1日	郵便局	取付依頼状の送付			2,096	報道関係19社
11月11日		ウェットティッシュ		880	880	100円ショップ
11月15日	レンタルオール	のぼりばた貸付		2,541	2,541	3セット分（土台・ポール）
11月16日	行動費				172,000	
		駐車料金			13,200	
		経費補助	1000円×22名		22,000	
		お茶代			5,184	60本
		お菓子代			2,803	
		印刷費(事務用)			5,000	
11月26日	機器レンタル				13,000	明伴B 機器代金
					376,375	

・決算書

(収入)

科目	金額(円)	内訳・備考
日臨技助成金	500,000	日臨技からの助成金
〇〇助成・補助金	12,990	富山県負担
広告収入		
寄付金		
雑収入		
合計	512,990	

(支出)

科目	金額(円)	内訳・備考
会場費	111,430	グランドプラザ使用料
設備・備品費	152,541	のぼり旗土台、機器レンタル
印刷費	7,512	ポスター、チラシ
人件費(派遣医師等)	0	医師 再× 名 講師料 ● ● 再×〇〇 円
旅費・宿泊費	203,600	実行委員日当21名、交通費
会議費	11,000	事前部門会議等2回開催、協賛場所打ち合わせ
通信運搬費	10,910	県内高校の校、県報第19社
消耗品費	10,355	クリアバック、ウェットティッシュ代
試料費	0	
広報費	0	ノバルティ、バルーンアート材料は前回残り使用
雑費	5,842	手数料、実行委員お茶代等
合計	512,990	

7) 青年部

次年度に向けて、研修会開催計画を立案中。

V. 今後の日程

- 3/3 (火) 第12回常務理事会
- 4/7 (火) 第1回常務理事会
- 4/9 (木) 第1回理事会
- 4/17 (金) 富山県臨床検査精度管理協議会
- 5/12 (火) 第2回常務理事会
- 5/14 (木) 第2回理事会
- 5/23 (土) 富臨技定時総会

VI. その他

・第64回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会




第350回日本臨床化学会東海・北陸支部例会連合大会

テーマ「臨床検査が拓く、新たな可能性」

大会長 仁井見英樹(富山大学 学術研究部医学系 臨床分子病態検査学講座)

2026年2月28日(土) 9時30分～16時40分 富山市 タワー111 スカイホール

会費 2,000円

	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷物印刷会社の提案について、経費節減案 議案書 650 冊 30.75 万円、名簿 350 冊 20.68 万円、会誌 150 冊 22.1375 万円、青本 150 冊 29.38 万円 エースプリント見積り：議案書 24.3750 万円、名簿 15.9 万円、会誌 11.55 万円、青本 16.5 万円。活動の記録、付属資料は HP に掲載し、議案のみを小冊子形式に変更し、冊数も再検討する。 ・災害時における臨床検査技師の支援活動に関する協定書について 別紙資料 担当澤井 富山県と協定に向けて進行中。 全国の協定現状 17 県：群馬, 徳島, 山梨, 宮城, 広島, 長崎, 石川, 茨城, 福井, 栃木, 長野, 三重, 大分, 佐賀, 高知, 岡山, 熊本 (令和 8 年 1 月)
<p>議事録 署名</p>	<p>事務局会議議長 (会長) 南部 重一 </p> <p>議事録著名人 (副会長) 澤井 真史 </p> <p>書記 (事務局長) 村椿 智佳子 </p>